

## あいさつ運動の好事例

浅口市立金光吉備小学校

(児童数201名 教職員数16名)

吉備小のよき伝統を受け継いで（笑顔であいさつ）  
～高学年の主体的な活動の取組～

### アピールポイント

本校には、全校で取り組んでいるよき伝統がたくさんある。その一つに「あいさつ日本一の学校になろう」があり、十数年間継続的に行っている。

この伝統を守ろうとする高学年の意識は高く、主体的な取組が低学年の手本となり、全校に波及している。



### 取組の概要

#### ■児童生徒の実態

高学年になるほど積極的にあいさつをしようとする意識は高くなるが、全校ではまだ十分とは言えない。

#### ■活動内容

「高学年がまず手本を示そう」の意識から、率先してあいさつをしたり、朝、自主的に靴箱付近に立ち、登校してきた児童に大きな声であいさつをしたりしている。また、児童会が中心となり、「あいさつ運動週間」を設定し、全校への声かけをしている。教職員も児童へ、また、教職員同士でも、「さわやかなあいさつ」を常に心がけている。

#### ■取組の参加メンバー

児童，児童会，教職員。

#### ■成果・効果

高学年の取組を価値づけ、継続的に取り組むことにより、全校児童の意識が高まってきた。また、地域でも「大人からあいさつを」の呼びかけが広がっている。